

平成22年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の対象

小学校6年生及び中学校3年生

3. 調査の内容

学力調査	「知識」	国語A 算数・数学A	・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題
	「活用」	国語B 算数・数学B	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題
学習状況調査			・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4. 調査の方法

抽出調査及び希望利用方式

本市の場合、抽出調査対象校と希望利用校を併せ、全市調査として実施。

5. 調査日時

平成22年4月20日（火）

Ⅱ 学力調査の結果【小学校】

1. 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
全 国（抽出）	83.3	77.8	74.2	49.3
広島県（抽出）	85.3	81.1	77.3	51.9
府中市（全体）	86.8	80.7	76.5	52.8
《旭小学校》	84.2	74.6	75.4	52.8

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2. 調査問題の趣旨と内容

区 分	調査問題の趣旨・内容
国語 A (15問)	<p>基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○物語に登場する人物を相互に関係付けて読む。</p> <p>○メモにある二つの文の論理を考え、指示された文の構成に合わせて一文で書く。</p> <p>○見学したことの説明として、冒頭に全体構成を伝えていることをとらえる。</p> <p>○共通語と方言との違いを押さえ、それぞれの使われ方を理解する。</p>
国語 B (10問)	<p>基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○学級新聞をよりよく書くために、二つの意見の共通点や相違点をとらえる。</p> <p>○物語の内容を要約したり、攻勢の効果を捕らえたりして、自分の考えをまとめる。</p> <p>○写真を提示し、問いかけながら話したり、観点を明確にして質問したりする。</p> <p>○三つの目覚まし時計の中から条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く。</p>
算数 A (19問)	<p>数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○整数、小数の四則計算をする。</p> <p>○角の大きさを求める。</p> <p>○立方体の展開図を完成させる。</p> <p>○基準量と比較量から割合を求める。</p>
算数 B (12問)	<p>数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○条件に合うように問題を変更したり、式に()を書き加えて正しい式に修正したりする。</p> <p>○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の図形に適用して説明を記述する。</p> <p>○図形の定義や性質を基に、事象から見いだした図形を判断して理由を選ぶ。</p> <p>○二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連付ける。</p>

3. 調査結果にみられる本校の特徴と課題

【国語】

学習指導要領 の領域	区分	特徴と課題
話すこと 聞くこと	A問題 (知識)	◇…聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することができる。
	B問題 (活用)	◆…目的や意図に応じて、聞き手を引き付けるように話すことに課題がある。 ◆…話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問することに課題がある。
書くこと	A問題 (知識)	◆…文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことに課題がある。
	B問題 (活用)	◇…目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり工夫したりすることができる。
読むこと	A問題 (知識)	◆…文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むことに課題がある。
	B問題 (活用)	◆…登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじを書くことに課題がある。
言語事項	A問題 (知識)	◇…学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読むことができる。 ◇…語句の構成や語形の変化を理解している。

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点

【算数】

学習指導要領 の領域	区分	特徴と課題
数と計算	A問題 (知識)	<p>◇…整数・小数の四則計算ができる。</p> <p>◆…数量を等分した時の1つ分や等分してできる部分の大きさを分数で表わすことに課題がある。</p> <p>◆…商が1より小さくなる等分除の場面で除法が用いられることの理解に課題がある。</p>
量と測定	A問題 (知識)	◇…台形の面積の求め方を理解し、面積を求めることができる。
図形	A問題 (知識)	◇…立方体を展開図から構成できる。
	B問題 (活用)	◆…平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に長方形の大きさを考え、それを記述することに課題がある。
数量関係	A問題 (知識)	◆…折れ線グラフから、増え方が最も大きい区間を読み取ることに課題がある。
	B問題 (活用)	<p>◇…示された円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>◇…二次元表の中の数が表す事柄を項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述できる。</p> <p>◆…割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなる時の基準量を判断し、理由を記述することに課題がある。</p>

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点

4. 今後の指導改善策

【国語】

学習指導要領の領域	指導改善策
書くこと	<p>目的や条件に応じて効果的に書く力を高めるための指導を充実する。そのため、毎日のミニ日記や学校行事等でお世話になった人に対してお礼文を出すような場面など、様々な相手や目的に応じて、手紙や文章を書く活動を仕組む。記録、報告、説明、感想など多様な様式を用いて書いたり、必要な情報を書き換えたりする言語活動を計画的に取り上げて指導していく。また、字数や文章構成などの条件に即して書く指導を充実していく。加えて自分の意見の根拠となった事実と、自分の意見とを区別して書く指導をする。</p>
読むこと	<p>児童が目的意識をもって内容の中心や書き手の考えを読みとることができるようにするために、説明的な文章では、評価読みの視点を取り入れ、自分の考えと筆者の考えを比較しながら読む指導を進める。</p> <p>目標を決めて、読書をするようにし、読書量を記録する。</p> <p>学期末のまとめのテストで検証し、改善に生かす。</p>

【算数】

学習指導要領の領域	指導改善策
数と計算	<p>朝ドリルなどで、繰り返しドリルを行い、計算の確実な定着を行う。</p> <p>問題から読み取った情報を図や言葉で整理し、立式の意味を根拠立ててノートに書く指導を進める。</p> <p>示された式を解釈し、条件に当てはまる場合について判断する活動を取り入れる。その際、変数の関係を捉えられるようにする。</p> <p>学期末のまとめのテストで、検証し改善に生かす。</p>
量と測定	<p>量の大きさについての感覚を豊かにしたい。そのために、具体物の大きさを調べたり、確かめたりするような具体物を使った算数的活動を積極的に取り入れる。</p> <p>面積を求めるために図形の性質に着目するなど、幾つかの領域の内容を関連づけた算数的活動を取り入れる。</p> <p>学期末のまとめのテストで検証し、改善に生かす。</p> <p>量と測定の領域の評価テストを実施し、平均正答率をアップさせる。</p>

【学校としての取組み】

指導改善策

重点課題について、全学年で共通の取組みを進める。

国語科では、言葉や文意へのこだわりを持たせるような読み取りを行い、説明的な文章では、評価読みの視点を取り入れ、自分の考えと筆者の考えを比較しながら読む指導を進める。また、児童に考えさせる授業展開となるように授業改善を進め、児童の主体的・意欲的な学習活動を充実する。また、音読・群読を行い、読む力をつけるとともに、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図ることで児童の主体的な読書活動を充実する。

目的や条件に応じて効果的に書く力を高めるための指導を充実する。そのため、ミニ日記や学校行事等でお世話になった人に対してお礼文を出すような場面など、様々な相手や目的に応じて、手紙や文章を書く活動を仕組む。

算数科では、その単元で習得した知識・理解を活用する力を想定して教材研究を行い、ペアトークや思考を表現するノート指導、発問の工夫を通して、数学的思考力・表現力を高める。

また、重さ、体積、面積の量感を育てるような算数的活動を取り入れた授業を仕組んでいく。

各教科の授業で、「かかわり発言」や「発表の話型」の掲示を活用することで、表現力を高める。来年度の全国学力学習調査で、平均正答率を全国平均値以上にする。

Ⅲ 学習状況調査の結果

1. 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる本校の傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・将来の夢や希望を持っている。
- ・家で苦手な教科の勉強をしている。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している。
- ・学校の決まりを守っている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う。

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。
- ・400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思う。
- ・回答時間は十分でしたか。（国語A）
- ・回答時間は十分でしたか。（国語B）

2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- ・読書旬刊を通して、お薦めの本を紹介する活動を行い、本に親しむ機会を持つ。
- ・学級懇談会を通し、読書の必要性を話し、保護者の協力を仰ぎながら、継続した取り組みを行う。
- ・国語科の「書く」単元の学習では、教科書の参考文例を活用し、段落替え、接続詞の利用等、前学年までの既習を生かし、指導していく。
- ・本年度、「生活習慣改善事業」に全校で取り組み、保護者の協力のもと、「早寝早起き」「朝ご飯を食べる」「手伝いをする」という点が改善されつつある。引き続き取り組んでいく。
- ・授業で取り入れているペアトーク、グループ学習が「自分の考えを持ち、表現する。」という点で、少しずつ成果を出している。今後も継続して取り組んでいく。